

2020年度学校健診後治療調査結果（東京都分）

1、調査の目的

- ①学校健診での各種健診・検査の要受診率の把握
- ②要受診者が受診できる環境にあるかの把握
- ③未受診の児童・生徒の学校での様子や困りごと、健康管理や受診を阻む要因の把握

⇒実態把握に留まることなく、自治体の口腔保健事業改善要望や行政への要請活動の基礎資料として活用し、マスコミ等への公開を行うこと、医療機関を受診したくても受診できない子どもたちの存在を広く都民に知らせるとともに、都内の子どもたちが安心して医療を受けられる体制を広げていくことを目的とする。

2、実施期間

2021年3月1日～3月26日

3、発送数と回収数等

都内：私立小・中・高等学校（468校）、都内：公立小・中・高等学校（2,061校）

都内：国立小・中・高等学校（21校）、都内：私立・公立特別支援学校（79校）

発送数の合計：2,629校 回答数の合計：192校（回収率：約7.3%）

	回答数
小学校	91
中学校	52
高校	37
特別支援学校	4
義務教育学校	1
校種不明	7
総数	192

4、全科における要受診者に対する未受診の割合

全科を比較すると、歯科における未受診率が63.4%と他科を上回る結果となった。

区分	健診実施者数	要受診者	受診者(要受診者中)	未受診(要受診者中)	未受診率
歯科健診	83,660	20,693	7,580	13,113	63.4%
眼科健診	80,215	2,535	1,212	1,323	52.2%
視力健診	84,864	31,277	13,256	18,021	57.6%
耳鼻科健診	77,948	9,547	4,295	5,252	55.0%
聴力健診	60,737	1,356	915	441	32.5%
内科健診	85,963	1,828	893	935	51.1%

5、各科における要受診者に対する未受診の割合

各科で校種別に比較すると、ほぼ全科にわたり高校での未受診率が高かった。

歯科	健診実施数	要受診者	受診者(要受診者)	未受診(要受診者)	未受診率
小学校	39,121	10,506	5,859	4,647	44.2%
中学校	17,003	4,109	785	3,324	80.9%
高校	24,914	5,302	611	4,691	88.5%
特別支援学校	261	77	17	60	77.9%
義務教育学校	30	0	0	0	0.0%
校種不明	2,331	699	308	391	55.9%
合計	83,660	20,693	7,580	13,113	

眼科	健診実施数	要受診者	受診者(要受診者)	未受診(要受診者)	未受診率
小学校	39,667	1,464	937	527	36.0%
中学校	16,110	582	134	448	77.0%
高校	22,023	304	59	245	80.6%
特別支援学校	253	9	3	6	66.7%
義務教育学校	0	0	0	0	0.0%
校種不明	2,162	176	79	97	55.1%
合計	80,215	2,535	1,212	1,323	

視力	健診実施数	要受診者	受診者(要受診者)	未受診(要受診者)	未受診率
小学校	39,493	14,628	9,157	5,471	37.4%
中学校	16,927	9,248	2,720	6,528	70.6%
高校	25,912	6,483	838	5,645	87.1%
特別支援学校	156	49	21	28	57.1%
義務教育学校	30	0	0	0	0.0%
校種不明	2,346	869	520	349	40.2%
合計	84,864	31,277	13,256	18,021	

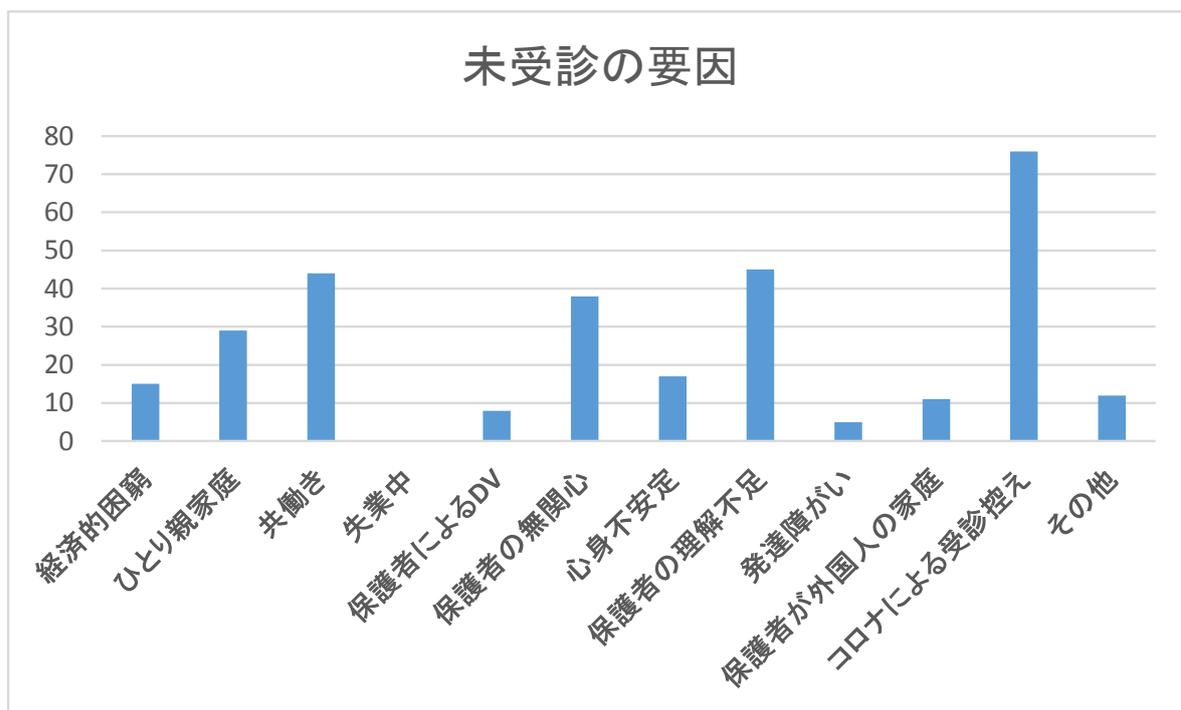
耳鼻科	健診実施数	要受診者	受診者(要受診者)	未受診(要受診者)	未受診率
小学校	39,080	5,945	3,481	2,464	41.4%
中学校	15,406	2,125	493	1,632	76.8%
高校	21,060	1,159	179	980	84.6%
特別支援学校	233	27	4	23	85.2%
義務教育学校	0	0	0	0	0.0%
校種不明	2,169	291	138	153	52.6%
合計	77,948	9,547	4,295	5,252	

聴力	健診実施数	要受診者	受診者(要受診者)	未受診(要受診者)	未受診率
小学校	29,275	968	758	210	21.7%
中学校	11,882	158	72	86	54.4%
高校	17,621	207	67	140	67.6%
特別支援学校	124	2	1	1	50.0%
義務教育学校	30	0	0	0	0.0%
校種不明	1,805	21	17	4	19.0%
合計	60,737	1,356	915	441	

内科	健診実施数	要受診者	受診者(要受診者)	未受診(要受診者)	未受診率
小学校	40,225	1,116	620	496	44.4%
中学校	17,404	313	13	200	63.9%
高校	25,698	364	140	224	61.5%
特別支援学校	266	7	7	0	0.0%
義務教育学校	30	0	0	0	0.0%
校種不明	2,340	28	13	15	53.6%
合計	85,963	1,828	793	935	

6、未受診の要因（複数回答）

未受診の要因として一番多かったのは、「コロナによる受診控え」であった。



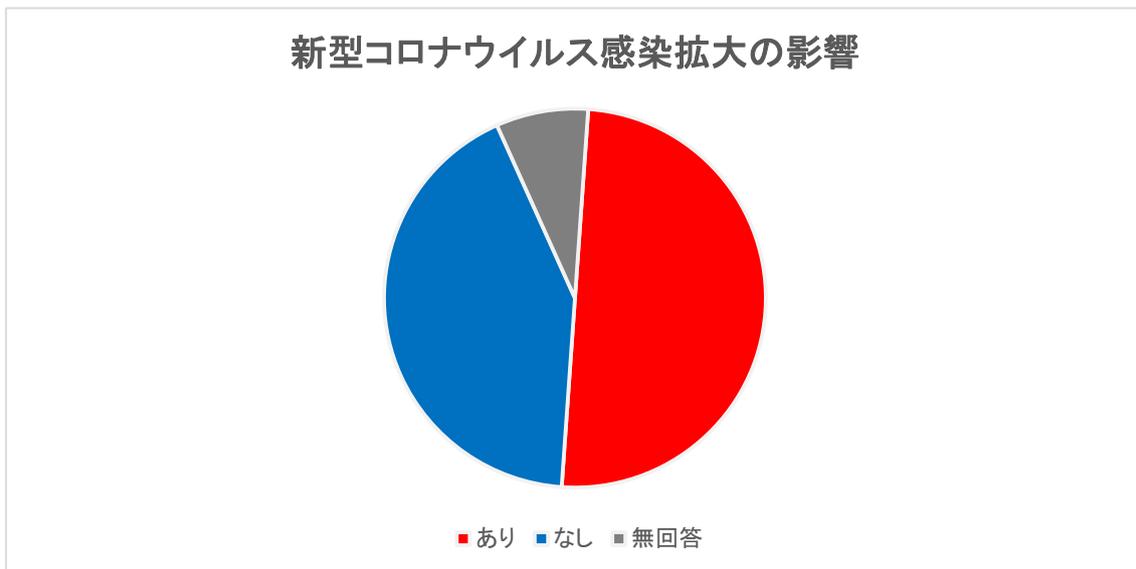
<自由記載欄>

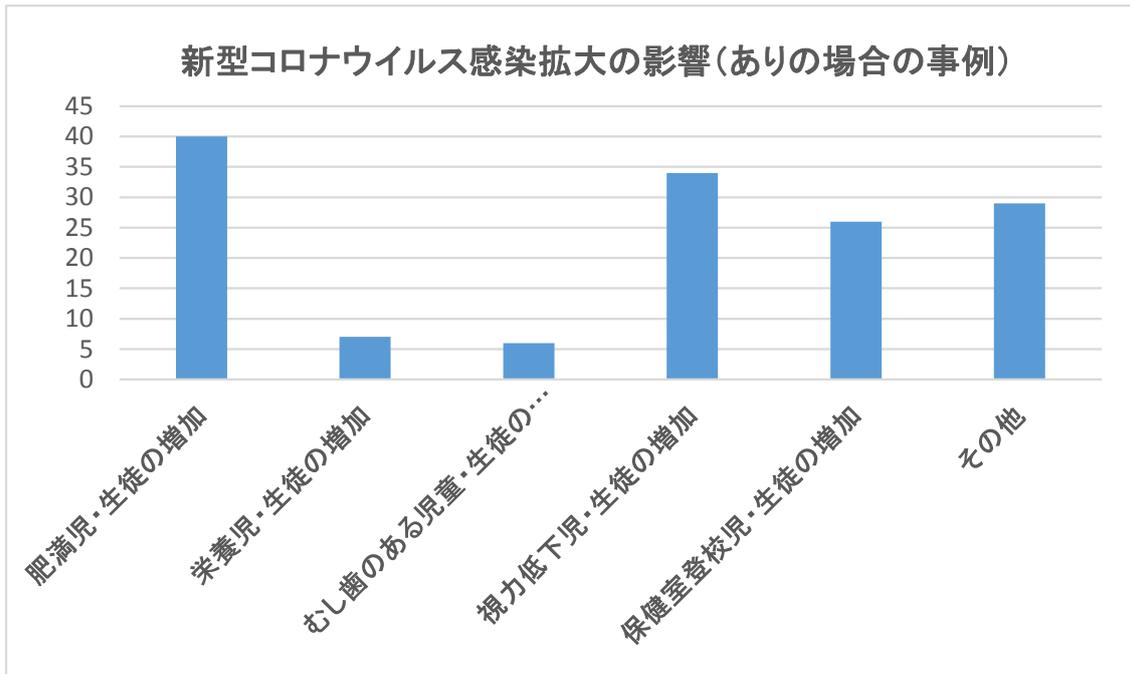
- ・子どもの病院嫌い。
- ・地域に病院が少ない、他地域の病院が遠い。
- ・子供本人が受診不要と考えている。
- ・長期欠席者の未受診が多い。
- ・両親の仕事が忙しい。

- ・児童精神科の予約をとることが、混み合っていて難しい。
- ・カウンセリングや精神科のようなメンタルヘルスへの差別的考えがあり、受診が進まない。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により不登校で受診ができていない。
- ・通塾や部活があり受診する時間がとれないため。
- ・受診をしたが、受診結果の用紙を提出しない→なくす。
- ・歯科検診のみ12月に実施したため、他項目は9月に実施したが、至急で受診が必要と判定されたもの以外は「受診のお勧めの用紙」の配付が1月（高3は2月）になった。1, 2月は分散登校、高3は3/1に卒業式であったため、受診結果報告書の回収が充分に出来なかった。
- ・不登校（ひきこもり、精神疾患）、うっかりミス、忘れ、めんどろ臭いと思っている…？本人の問題

7、新型コロナウイルス感染拡大の影響について

半数以上の学校が、新型コロナウイルス感染拡大の影響が「あった」と回答した。





<その他の事例で挙げられた内容>

- ・感染予防のため長期欠席中で健診受けていない。
- ・ゲーム依存、登校渋り
- ・6月の少人数での登校（分散登校）では通いやすくなった登校しぶりの子が多かった。
- ・不登校傾向
- ・骨折の増加
- ・摂食障害になり入院
- ・ゲーム時間の増加により、暴力的・学習への意欲の低下が見られ、保護者から担任に相談があり、心理士も観察・支援を行った事例があった。
- ・ゲーム依存傾向・夜ふかしによる遅刻や欠席が増加。
- ・精神的に不安定な生徒の増加

※参考

東京歯科保険医協会が独自に行った「学校歯科治療調査報告書」2018年3月発表分はこちらからご覧になれます。↓↓↓

<https://www.tokyo-sk.com/news2/21686/>